

生きる希望を失った少女が

たどり着いた病院には、

物語を抱えた患者たちとの出会いがあった。

難病と闘いながら、

今を明るく精一杯生きていく少年や、

ホスピタルクラウンたち。

やがて命の尊さや

「なぜ生きているのか」の意味を

考え始めた少女は、

自分が出来る事を見つけ出す。

生きることのすばらしさを伝えたい。



明日への扉

# Hospital Of Miracle

ホスピタル オブ ミラクル 字幕付

2018年

**9月14日(金)**

●開場 17:30 ●開演 18:30

**9月15日(土)**

●開場 12:00 ●開演 13:00

**会場 大阪国際交流センター**  
(裏面に地図があります)

**料金** 前売: 4,000円 / 当日: 4,500円 (全席指定)

**お問い合わせ** 0120-230-830 (放送芸術学院専門学校)

主催:



**滋慶学園COMグループ**



学校法人コミュニケーションアート

**放送芸術学院専門学校**



学校法人コミュニケーションアート

**大阪アニメーションスクール専門学校**

# 1992年より滋慶学園では 骨髄移植推進キャンペーンミュージカルに 取り組んでおります。

このミュージカルは「生きることのすばらしさを伝えたい」という思いで社会貢献を目的に学生の力を集結してつくりあげました。笑顔で挨拶、チームワークやコミュニケーションの大切さを学ぶと同時に、幅広いデビューに向けて好きなことを仕事にし、感動をとどけられるエンターテイナーの育成も目的とし、このミュージカルに取り組んでおります。

ストーリーに白血病の内容を取り入れ、耳の不自由な方にもミュージカルを楽しんでいただけるよう、ステージサイドにキャストの台詞を字幕表示し劇中ラストのテーマ曲では手話にも挑戦しております。

## 骨髄バンクについて

1991年12月、それまで不治の病と言われていた白血病の人々を救うべく、骨髄バンクが誕生しました。約1年後の1993年1月、初めての非血縁者移植が行われました。骨髄移植提供者(ドナー)の条件として、患者と提供者のHLA型(白血球の血液型)が適合しなければなりません。しかし、HLA型があう確率は兄弟姉妹で4人に1人、そして血縁関係がなければ、数百~数万人に1人という非常に低いものなのです。現在も日本では年間2000名を超える方が白血病を発症され、治療を必要とされています。このミュージカルが骨髄移植や骨髄バンクについて皆様に感心をもっていただくためのきっかけになって欲しいと願っています。終演後にはロビーにて募金活動を行います。皆様のあたたかいご協力よろしくお願いいたします。

## 学生の力が集結された舞台

このミュージカル公演は、出演者だけでなく音響・照明・舞台制作・運営などそれぞれを学ぶ学生の力でを行っています。約5か月にわたる練習期間の集大成をぜひご覧ください。



## プロジェクションマッピング

凹凸のある壁面や、建築物・家具など立体物の表面にプロジェクターで映像を投影するプロジェクションマッピングを劇中に取り入れております。



## 社会貢献活動

終演後に募金活動を行っております。募金は卒業式にて、公益財団法人日本骨髄バンク、財団法人夏目雅子ひまわり基金に寄付されます。



## ●お問い合わせ・予約

滋慶学園COMグループ 学校法人コミュニケーションアート  
 **放送芸術学院専門学校**

滋慶学園COMグループ 学校法人コミュニケーションアート  
 **大阪アニメーションスクール専門学校**

 **BAC** ☎ 0120-230-830  
 **OAS** ☎ 0120-230-840

 **BAC** info@bac.ac.jp  
 **OAS** info@oas.ac.jp

 **BAC** <http://www.bac.ac.jp>  
 **OAS** <http://www.oas.ac.jp>



## ●会場のご案内

### 大阪国際交流センター

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 8-2-6  
 Tel:06-6773-8182 / Fax:06-6773-8421



大阪国際交流センター アクセス 